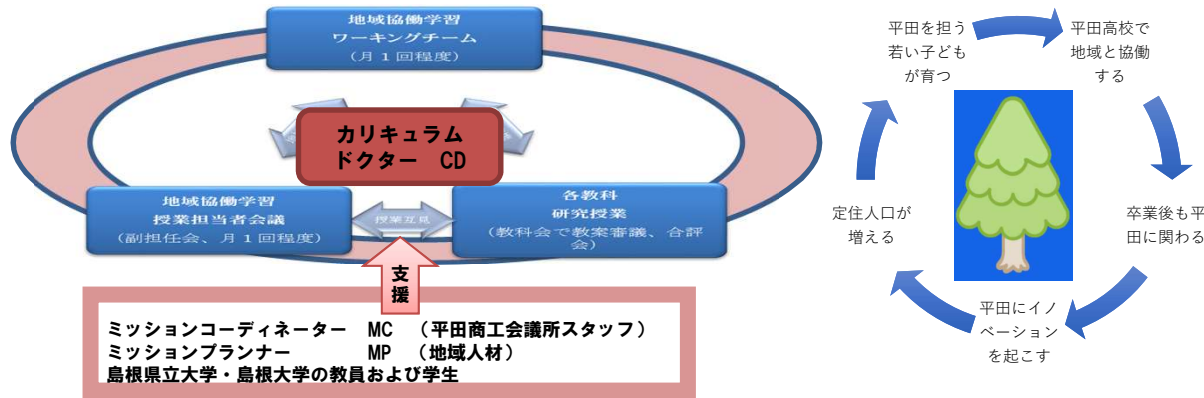


## 地域人材育成循環システム「平田プラタナスプラン」の構築

過疎化や高齢化、産業の衰退が進む平田地域において、地域の課題解決に向けた「地域協働学習」を柱としたカリキュラム開発をすることで、生徒自身が『自分というプラタナス』を育て、地域にイノベーションをおこすことのできる人材を育成する。また、大きく育ったプラタナスの木（卒業生）は豊かな土壌地域を育み、新たなプラタナス（次世代を担うこども達）を育てていく「地域人材育成循環システム」を構築できる。



### 令和2年度の目標

地域で活躍する人材を育成するため、次の3つの活動を行う。

- I 地域ブランドの創出
- II 多文化共生社会の推進
- III ファン人口交流人口の増加策

これらの活動を通して、高校での3年間に「地域での成功体験」を積み上げる。

### 取組状況

- (1)出雲産あずきの普及に向けた商品開発、基礎研究、宣伝活動
- (2)多文化交流企画、やさしい日本語 パンフ作成
- (3)地域イベントの企画運営、Youtube作成・提案
- (4)平田地域海岸部農村部での研修など地域活性化の視点の土台をつくる活動
- (5)様々な活動を自分自身の進路に落とし込む個人探究活動

### 成果と課題

#### < 成果 >

1. 研究発表回数 4回 (目標6回)
2. 授業に関わった外部人材 40人 (目標8人)
3. 普及活動動員数 335人 (目標400人)
4. 地域に関心を持ち将来地域に貢献する意識が高まり県立大地域系学部への志望者が増えた。

#### < 課題とその対策 >

- ①持続可能な教材化に向けた探究学習のカリキュラムの検討 1年次個人探究、2年次地域協働学習、3年次個人探究・進路を見据えた志望理由書作成
- ②教科横断的な授業開発の検討 共通テーマを設定して各教科で内容や展開を工夫した横断的な授業開発の検討
- ③組織的な取組 ワーキングチーム中心に推進、職会や副担会等で教職員の意思疎通を図る 教員同士の授業見学や教員研修の充実年間計画・誰もが取り組みやすい指導展開案等マニュアル作成、学習の質の向上に資するルーブリックの作成
- ④地元中学生の入学割合の向上 学校の魅力を中学生と保護者に伝える活動の充実